

みどりの食料システム戦略 中間取りまとめ（抜粋）

3 本戦略の目指す姿と取組方向

（略）

（4）本戦略が目指すK P I（重要業績評価指標）

本戦略により、2050年を目標年次として、サプライチェーン全体における各般の取組とイノベーションの社会実装が実現した姿として、以下のK P Iを提示する。

- ① スマート防除技術体系の活用や、リスクの高い農薬からリスクのより低い農薬への転換を段階的に進めつつ、化学農薬のみに依存しない総合的な病虫害管理体系の確立・普及等を図ることに加え、2040年までに、多く使われているネオニコチノイド系農薬を含む従来の殺虫剤を使用しなくてもすむような新規農薬等の開発により、2050年までに、化学農薬使用量（リスク換算）の50%低減を目指す。

（略）

（参考）化学農薬使用量（リスク換算）の求め方

$$\Sigma \left(\text{「農薬出荷量（有効成分ベース）」} \times \text{「リスク係数※」} \right)$$

※「リスク係数」は、ADIを基に係数を決定。